

開進第二小学校における児童との意見交換会 令和8年7月7日実施

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
1	教育委員会の方々のお仕事を教えてください。	教育委員会は、教育長と4名の教育委員で構成され、学校施設の整備や給食、タブレット端末の配備、教科書採択など、区の教育に関する様々な事項を審議・決定しています。また、教育委員会は月2回程度の定例会のほか、必要に応じて臨時会を開催し、子供たちの教育環境の充実に向けた意思決定を行っています。こうした教育委員会の運営は、事務局が担う幅広い実務に支えられています。さらに、教育分野に加えて子育て支援も所管しており、子供を育てる家庭への支援や、保護者が安心して子育てできる環境づくりにも取り組んでいます。
2	教育委員会のお仕事の中で、最も大切なお仕事はなんですか。	教育委員会には様々な仕事がありますが、その中で最も大切な仕事というものはなく、どの仕事も大切であり、一つひとつ誠実にみんなで話し合って決定しています。教育委員としては、練馬区の子どもたちの教育を第一に考え、公正かつ中立な立場で判断することを大切にしています。また、子どもたちの学びを最優先にすること、専門的な意見を尊重すること、保護者や地域の方々の意見を反映すること、説明責任を果たすこと、法律を守って正しい判断をすることなどを常に意識しています。どの仕事も、練馬の子どもたちがより良い環境で学校生活を送れるようにするために大切です。
3	教育委員会で物事を決める上で一番大変なことを教えてください。	教育委員会で物事を決める上で、大変なことは2つあります。一つ目は、様々な意見を持つ人たちの話をよく聞きながら、多くの人が納得できる方法を見つけることです。二つ目は、教育に関する取り組みの結果が分かるまでに長い時間がかかることです。新しい取り組みがよかったのかどうかは、場合によってはみなさんが大人になるまでわからないこともあります。そのため、結果が見えない中でも判断しなければならない難しさがあります。現在は、学習におけるAIの活用についても検討を進めているところです。
4	練馬区の教育で一番大切にしていることは何ですか。	子どもたち一人一人が夢や目標を持って、うまくいかないときでも諦めずに乗り越えていける力を育むことです。勉強は、ただ覚えるだけでなく、自分で考えたり友達と話し合ったりしながら、「なるほど、そういうことだったのか」と納得できる瞬間に楽しさがあります。今は学ぶ意味が分からないことでも、将来になって点と点がつながり、「こういうことだったのか」と実感できる時があります。そのため、一生懸命勉強に取り組んでほしいです。教育委員会は、皆さん一人一人が安心して学校に通って学ぶ、学んで楽しいと感じながら自分の可能性を広げていけるよう、これからも、教育委員、事務局みんなで応援しています。どうぞ頑張ってください。

	質問・要望 (要旨)	回答 (要旨)
5	学校で使っている教科書はどのようにして決まるのですか。	教科書は教育委員会で選んでいます。4年に1度教科書を選び、4年間使っていただくことを繰り返しています。教科書は、文部科学省の検定を通ったものの中から選びます。選ぶ際には、教育委員だけでなく、学校の先生や保護者の代表の方などにも見ていただき、様々な意見をいただきます。その結果も考慮しながら、教育委員会で選んでいます。
6	各学校の校長先生はどのように決まるのですか。	校長先生になるためには試験に合格する必要があるし、論文や面接が行われます。論文では、子供たちにどのように育ってほしいか、学校をどのようにつくっていくか、地域とどのように連携していくかといった考えを示します。また、校長先生になるまでには教員として経験を積み、副校長先生となり、さらに試験や面接を経て校長先生となります。東京都の教員は都内各地や島で勤務することもあり、様々な経験を重ねながら校長先生としての資質を身に付けていきます。夢は見るものではなく、叶えるものです。ぜひしっかり夢を持って自分の好きなことに向かっていってください。
7	学校の予算はどのように決まるのですか。また、学校を建てるのにどのくらいの予算が必要ですか。	学校を運営していくためのお金のお半は税金です。まず、学校の先生方が来年度にお金を使いたい部分を考え、要望を教育委員会に提出します。教育委員会は要望に加え、学校施設の改修や建替なども含めて予算案を作成します。その後、区議会の承認を得て初めて予算が使えるようになります。なお、学校の運営には施設の維持管理費や光熱費のほか、教員の人件費も必要ですが、教員の給与は東京都が負担しています。こうした費用を含めると、小学生一人当たり年間およそ100万円の予算が使われています。それだけの価値が教育にはあるということです。また、学校の建て替え費用について、最近建て替えられた豊溪小学校は約90億円がかかっています。90億円とは、練馬区民全員に、約1万円の給付金が出せるくらいの額です。
8	長期休みの期間はどのように決まるのですか。また、なぜ夏休みがあるのですか。	長期休みは地域の教育委員会が決めています。練馬区では、夏休みは7月21日から8月31日、冬休みは12月26日から1月7日まで、春休みは3月26日から4月6日までとしています。長期休みが設けられているのは、皆さんが1年に勉強しなければならない事柄が決まっているので、それに合わせてお休みを取る、そしてまた季節に合わせてお休みを取ります。例えば夏休みに、一生懸命汗を流しながら登校して勉強するというのは大変でしょう。そういうときにお休みを取って心や体を休めたり、家庭や地域での経験を大切に作る時間が大切、そういうことをするためにお休みを取っています。なので、お休みには必ず意味があって、だらだらするのでもいいんだけど、しっかりと家庭のこととか地域のお手伝いなどをしたり、新しい経験をしたりして、1日1日を大切にしてください。
9	どうして開進第二小学校の長寿命化改修工事はストップしてしまったのですか。	開進第二小学校の校舎は築60年ほど経過しており、校舎を長持ちさせるための長寿命化改修工事が計画されていました。工事期間中に使用する仮設校舎も整備されましたが、工事を行う業者を募集した際に応募がなく、工事を進めることができない状況となりました。その背景には、建設現場で働く人手不足に加え、マンションや商業施設などの需要が高まっており、学校工事に必要な人員の確保が難しくなっています。みなさんの後輩が良い環境で勉強できるよう、事業者を早く探して、工事を進めていきたいと思っています。